事例No.	1001
公表年度	R1
団体の属性	複数団体
団体名	大分県臼杵市・由布市・国東市・日出町

事例区分	行政改革

タグ	・（行政改革）業務の効率化 ・RPA ・AI

事例種類	複数団体による業務プロセスの標準化

事例内容・タイトル

RPAライセンス共有のスキーム構築

出典

地方公共団体における行政改革の取組（令和2年3月27日公表）

★複数団体による業務プロセスの標準化④〈大分県臼杵市・由布市・国東市・日出町〉

○　**「書かせない窓口」により住民負担の軽減と住民サービスを向上**させるとともに、AI-OCRとRPAを活用して**各種帳票の内容を業務システムに自動入力し、職員の負担を軽減**。

○　併せて**RPAのライセンスを仮想環境を利用して、共有化**し、複数団体によるICTの共同利用の可能性を探る。

〈RPAライセンス共有のスキーム構築 〉

※ 令和元年度自治体行政スマートプロジェクト採択事業

目　的

○　住民サービスの向上と職員負担軽減の両立。

○　**小規模な自治体も導入可能なＲＰＡ導入スキームの構築**。

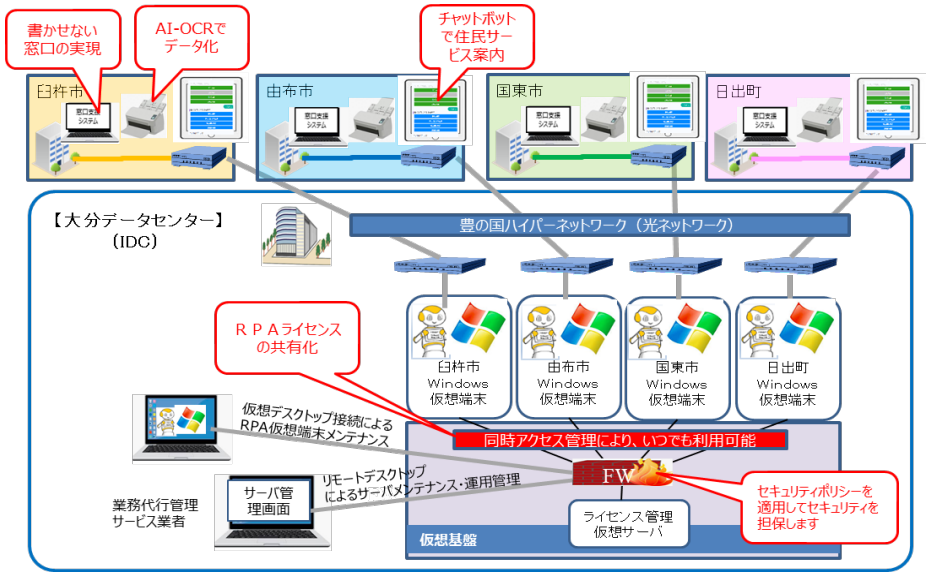
取　組



○　窓口申請支援システムを利用した**「書かせない窓口」により住民負担の軽減を実現し、住民サービスを向上**。

○　**AI-OCRとRPAを活用し**、各種紙帳票の内容を業務システムに自動入力することで、**職員の負担を軽減**。

○　**フローティングライセンス（許諾権限を管理するサーバを運用し、周囲のコンピュータが動的にライセンスを取得してソフトウェアを起動する方式）を各団体が利用**することで、**RPAライセンスの共有を実現。**利用に際し必要となる**ライセンス管理サーバは県内市町村をつなぐネットワーク環境を活用**し設置。



検 証 結 果（ライセンス共有）

○　ライセンス管理サーバを設置するネットワーク環境があれば自治体間でもRPAライセンスの共有は可能。ただし、1ライセンスを複数団体が同時に利用することはできない。

○　本格導入する場合には、ライセンスを共有する団体間で**①共有するライセンス数、②１団体が同時に利用するライセンス数の上限、③各団体の利用時間の上限ないし利用スケジュール、④費用負担等の取り決めが必要。**

○　ライセンス共有はコスト削減の為の有効手段と考えられるが、**①同時に複数団体で作業ができず、住民を待たせることになるため転入処理業務など窓口業務には不向き**、**②RPA作業のスケジュールを調整すれば、軽自動車税業務のバッチ処理など自治体の内部業務には有効。**

